

件名	久慈市自立・分散型エネルギー供給スキーム設計業務 第1回検討委員会 議事録
日時	令和4年10月4日(火) 14時～15時20分
出席委員	大崎委員、久松委員、上有谷委員、高橋委員、若林委員、尾留川委員
場所	久慈市役所3階 車庫棟会議室2・3
資料	資料1. 事業概要説明資料(議事1) 資料2. 説明資料(議事2～4)
議事	議事1 事業概要 議事2 検討委員会の設立趣旨 議事3 調査項目 議事4 今後のスケジュール他 議事5 その他

1. 検討委員会の進行について

大崎委員の挨拶のあと、出席委員、事務局の紹介を実施。次に、大崎委員を座長として議事を進行。

2. 議事1(事業概要)

- ・対象需要家(表1)の需要に対してどのくらいの太陽光の規模を考えているのか(委員)
 - 第1回の脱炭素先行地域計画提案書にて検討済み。別途資料を展開する(事務局)
- ・需要家に応じた、オンサイト/オフサイト PPA 導入における課題についてのマトリックス(関係関係)があると分かりやすいため検討してはどうか(委員)
 - 承知した(事務局)
- ・夜間電力によるエコキュートの沸き上げは夜間電力が上がっている昨今の状況では、事業的に困難であることが想定される。事業検討時には条件設定を定め実施のこと(委員)
 - 承知した(事務局)

- ・太陽光発電導入においてオンサイトでも屋根、敷地内、オフサイトといったように優先順位を設けて考えていく方が望ましい（委員）
 - 承知した（事務局）
- ・省エネを組合せた検討も脱炭素という観点では必要。今回は実施するのか（委員）
 - 本設計業務での検討は不可。省エネの必要性については報告書で記載する（事務局）

3. 議事2（検討委員会の設立趣旨）

- ・ひおきコンパクトグリッド事業について説明してほしい（委員）
 - ひおき事業は自営線によるマイクログリッドを2か所（行政エリア、福祉エリア）構築しており、電源としては太陽光発電、コジェネ（福祉エリアのみ）により熱も供給している。不足電力は九州電力から購入している。運用主体はひおき地域エネルギー（株）にて実施している（事務局）

4. 議事3（調査項目）

- ・需要の調査とはどのような調査を実施するのか（委員）
 - 公共施設については電気使用量（需要量）を久慈市、久慈地域エネルギーのご協力のうえ入手済であり、民間施設についてはアンケートにより算定する（机上的な調査）（事務局）
- ・オフサイトPPAのうち自営線ではない方は東北電力ネットワークの電力線に接続する。その場合、停電が発生した場合は供給先需要家も停電するという理解でよいか（委員）
 - お見込みのとおり（事務局）
- ・東北電力ネットワークの電力線を利用したマイクログリッド的手法で非常時（災害時）でも供給できる手法は本設計業務で検討するのか（委員）
 - 上記の検討は一般的にはあるが、本設計業務では実施しない（事務局）
- ・需要家のターゲットは具体的どこなのか（委員）
 - 表1の需要家となる（事務局）
- ・自営線のイメージはどういったイメージなのか。風力発電を高圧又は特高で連系するのか（委員）
 - 各地区で表1中から代表需要家を仮定的に選定し、その需要家まで風力発電又は太陽光発電から自営線による供給を考えている。風力発電については特高又は高圧連系、太陽光発電は高圧連系にて考えている（事務局）
- ・風車の位置は図2に記載のある「風車（仮）」であり、自営線はその地点からを考えているのか（委員）
 - お見込みのとおり。需要家については風車との距離が最短となる需要家を考えている（事務局）
- ・風力発電は特高連系なのでは。変電所（特高/高圧）をつくるのか（委員）
 - 風車1基程度をオフサイトPPAとして考えている。1基であれば高圧連系（2,000kW以下の出力抑制）という手立てもあるものと考えている（事務局）
- ・柿乃花牧場付近の位置が霜畑小学校の位置になっていないか（委員）
 - 柿乃花牧場付近の位置は小国地区なので小国小学校が正しいのではないか？
 - 確認し、必要に応じて修正する（事務局）
- ・一括検討プロセスの工事負担金は何で決まるのか（委員）

- 接続容量に対して費用が決まり、接続検討に申請した事業者にて按分される。なお、工事負担金については事業者には連絡がないため、本設計業務においてどう確認していくかは検討する（事務局）

5. 議事4（今後のスケジュール）

- ・不足しているデータはあとどのくらいあるのか（委員）
 - 久慈市市役所のデータが不足しており、契約電力会社に確認中。久慈地域エネルギー分は入手済み（事務局）
- ・オンサイトPPA及びエコキュートの最適な事業性を本設計業務にて検討していく理解であるが、その結果を久慈市市内に広く展開していくのか（委員）
 - 久慈市市内で再エネ促進のメニューの一つとして考えている。本設計業務の結果については、広報誌にて市民に展開し、また本事業の評価に際して岩手県審査委員会委員からも展開するようコメントがあったところである（事務局）
- ・現地調査は太陽光パネル設置による実証事業を行うのか（委員）
 - 机上での検討がメインである。なお、日照時間については考慮し、条件設定を設ける。

以上